

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	都市計画	
科目基礎情報						
科目番号	0029	科目区分	専門 / 必修			
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	建設システム工学科	対象学年	3			
開設期	前期	週時間数	2			
教科書/教材	「地域共生の都市計画」 三村浩史 著 学芸出版社					
担当教員	尾上 亮介					
到達目標						
①. 都市計画の概要を知る ②. 都市計画の歴史を知る ③. 地域・都市計画の手続きを知る ④. 都市整備・開発を知る ⑤. 安全と防災の都市づくりを知る ⑥. 地区計画等ミクロの都市計画を知る						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1	正確に都市計画の概要を知っている	適切に都市計画の概要を知っている	適切に都市計画の概要を知っていない			
評価項目2	正確に都市計画の歴史を知っている	適切に都市計画の歴史を知っている	適切に都市計画の歴史を知っていない			
評価項目3	正確に地域・都市計画の手続きを知っている	適切に地域・都市計画の手続きを知っている	適切に地域・都市計画の手続きを知っていない			
評価項目4	正確に都市整備・開発を知っている	適切に都市整備・開発を知っている	適切に都市整備・開発を知っていない			
評価項目5	正確に安全と防災の都市づくりを知っている	適切に安全と防災の都市づくりを知っている	適切に安全と防災の都市づくりを知っていない			
評価項目6	正確に地区計画等ミクロの都市計画を知っている	適切に地区計画等ミクロの都市計画を知っている	適切に地区計画等ミクロの都市計画を知っていない			
学科の到達目標項目との関係						
(B)						
教育方法等						
概要	都市計画に関する基礎的な知識、考え方、方法論、計画論、事例等を学習し、理解することを目的とする					
授業の進め方・方法	講義を中心に授業を行う					
注意点	評価方法・評価基準 2回の定期試験で評価を行う 都市計画の理解度を評価基準とする 教員の連絡先 研究室 A-306 内線電話 8963 e-mail onoe@maizuru-ct.ac.jp					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション、都市計画とは	①. 都市計画の概要を知る		
		2週	都市計画の歴史 1	②. 都市計画の歴史を知る		
		3週	都市計画の歴史 2	②. 都市計画の歴史を知る		
		4週	都市計画マスタープラン1	③. 地域・都市計画の手続きを知る		
		5週	都市計画マスタープラン2	③. 地域・都市計画の手続きを知る		
		6週	土地利用計画1	③. 地域・都市計画の手続きを知る		
		7週	土地利用計画2	③. 地域・都市計画の手続きを知る		
		8週	中間試験	①. 都市計画の概要を知る ②. 都市計画の歴史を知る ③. 地域・都市計画の手続きを知る		
	2ndQ	9週	市街地の開発・再開発と整備計画1	④. 都市整備・開発を知る		
		10週	市街地の開発・再開発と整備計画2	④. 都市整備・開発を知る		
		11週	建築行為・開発行為の社会的コントロール1	④. 都市整備・開発を知る		
		12週	建築行為・開発行為の社会的コントロール2	④. 都市整備・開発を知る		
		13週	安全な都市づくり	⑤. 安全と防災の都市づくりを知る		
		14週	ミクロの都市計画	⑥. 地区計画等ミクロの都市計画を知る		
		15週	まとめ	⑥. 地区計画等ミクロの都市計画を知る		
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	計画	国土と地域の定義を説明できる。	1	前1
				都市の持続可能性について理解している。	1	前1
				西欧型の環境都市について理解している。	1	前1
				地方圏と過疎地域の計画について理解している。	1	前14
				諸外国の地域計画について理解している。	1	前14
				近代都市計画（西欧と日本）について理解している。	1	前2,前3
				近代都市の特徴と課題について理解している。	1	前2,前3

			日本、世界における古代、中世および現代の都市計画の思想および理念と実際について、説明できる。	1	前2,前3
			都市計画法と都市計画関連法の概要について、説明できる。	1	前12
			都市計画制限と開発許可について理解している。	1	前12
			土地利用計画と交通計画について、説明できる。	1	前4,前5
			国勢調査などの既存のデータや人工と社会経済指標（計画フレーム）を理解している。	1	前4,前5
			総合計画とマスタープランについて、説明できる。	1	前4,前5
			人口と社会経済指標（計画フレーム）を理解し、その推計ができる。	1	前4,前5
			都市計画区域の区域区分と用途地域について理解している。	1	前6
			特別な地区・区域の設定について理解している。	1	前6,前11
			用途地域の建築規制（建蔽率・容積率・用途規制）について理解している。	1	前11
			都市形態（チュウネン図と田園都市）について理解している。	1	前3
			同心円モデルから多核心モデルについて理解している。	1	前6,前7
			緑化と環境整備(緑の基本計画)について、説明できる。	1	前15
			公園緑地の種類と役割について理解している。	1	前15
			緩衝緑地とグリーンベルトについて理解している。	1	前15
			自然環境の保護・保全について理解している。	1	前15
			風景、景観と景観要素について、説明できる。	1	前14
			都市の防災構造化を説明できる。	1	前13
			災害の履歴と防災計画について理解している。	1	前13
			土地区画整理事業を説明できる。	1	前9
			市街地開発・再開事業を説明できる。	1	前9
			都市計画道路の計画と整備について理解している。	1	前10
			中心市街地活性化(再生)について理解している。	1	前10
			市民参加とワークショップについて理解している。	1	前10,前14
	建築系分野	計画・歴史	現代社会における都市計画の課題の位置づけについて説明できる。	1	前1
			近現代都市の特質と課題について説明できる。	1	前1
			産業革命と理想社会論について理解している。	1	前2
			近代の都市計画論について説明できる。	1	前2
			現代にいたる都市計画論について説明できる。	1	前3
			日本の土地利用計画の仕組みについて説明できる。	1	前3
			方法・制度の変遷について説明できる。	1	前3
			景観形成・風景計画、用途・形態規制の仕組みについて説明できる。	1	前15
			市街地を開発する仕組みについて説明できる。	1	前9
			土地区画整理事業について説明できる。	1	前9
			市街地再開事業について説明できる。	1	前10
			市街地を開発する地域コミュニティ等による仕組みについて理解している。	1	前10
			市街地の防災、保全・改善事業について説明できる。	1	前13
			地区計画制度について説明できる。	1	前14
			建築協定・緑化協定などの住民参加・協働のまちづくりの体制について説明できる。	1	前14
			都市の形成について説明できる。	1	前2
			都市環境を総合的に計画する手法を理解している。	1	前4
			現代におけるコミュニティの役割について説明できる。	1	前14
			参加協働によるコミュニティ開発について説明できる。	1	前14
			歴史的市街地について説明できる。	1	前3
	中心市街地と郊外地域の関係について説明できる。	1	前3		
	環境対策と景観形成について説明できる。	1	前3		
	地域計画調査手法について説明できる。	1	前14		
	地域計画整備の実例について説明できる。	1	前14		

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0